

## 第2学年国語科学習指導案

日時 平成17年6月3日(金)第2校時  
場所 2年 組教室  
児童数 名(男子 名 女子 名)  
授業者 井上久美子

1、単元名 **だいじなことを おとさずに、話したり 聞いたり しよう。(話す・聞く)**  
教材名 **ともさんは どこかな**

2、指導の立場

(1) 単元(教材)について

本単元は、以下の学習指導要領の領域の目標と内容を具現する学習内容である。

学習指導要領の目標及び内容

目標

(1)相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。

内容

(1)話すこと・聞くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。

ア 知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら、相手に分かるように話すこと。

イ 大事な事を落とさないようにしながら、興味を持って聞くこと。

ウ 身近な事柄について、話題に沿って話し合うこと。

本単元は、2年生で最初の「話すこと・聞くこと」学習の小単元である。子ども達が、上記の1年間の目標に近づけるよう、2学期の単元『あったらいいな、こんなもの』では、二人一組の対話形式で、「話す順序を考えながら聞き手にわかるように話すこと」「相手の話を聞き落とさずに聞き、わからないことを質問できるようにすること」、3学期の単元『なにに見えるかな』では、少人数のグループになり、「お互いが想像したことについて話題に沿って、話したり聞いたりできるようにすること」を学習する。本単元はその基礎として、「相手にわかりやすく伝えるための大事な事がわかり順序も考えて話すこと、大事な事を落とさず聞くこと」を学習する内容である。

本単元は、低学年という実態からゲーム感覚で行える「迷子探し」を通して、興味を持って「話すこと・聞くこと」の学習に取り組める方法がとられている。そこで、ゲームで終わらないよう、初めに迷子の気持ちや状況をおさえ、早く見つけてあげる大切さを確認する。そのためには、迷子の様子がよくわかる事(大事な事)を話し、大事な事を落とさずに聞き取ることが必要であることを理解させて、学習活動に取り組ませていく。

(2)児童について

元気のよいクラスで、自分の思っている事や話したい事を進んで話そうとする子が多い。また、聞き手(仲間や教師)の方を向いて話したり、話し手を見て聞いたりできる子、みんなに聞える声の大きさと話せる子も多い。一方、「聞くこと」については、「黙って聞く。」「話す人にへそを向けて聞く。」など、態度面の約束を守って聞ける子が多い。また、少人数ではあるが、自分の思いや考えと比べながら聞き、「同じです。」と言える子や質問のできる子がいる。こうした姿から、「話そう・聞こう」という意欲と相手意識は育ってきていると考える。

反面、話す内容は、語彙が乏しいため単語だけだったり、朝の会スピーチでテーマ「1年生での一番の思い出」について、自分の体験をまとめて話すことができない子が多かったり(心に一番残っている出来事を選んで話すことができない。出来事を話すだけで、その理由や様子を話せない。)する姿から、知らせたいことを選んでわかりやすい内容の話をする力は弱いと考える。

また、自分の興味のある話題に関しては、目を輝かせて聞き入ることができるが、あまり興味のない話題だったり、聞く時間が長時間だったりすると、姿勢がくずれたり手遊びが始まったりと、集中して聞くことができない子がいる。

こうした実態をふまえ、日頃、大きく3つの手立てをとっている。

一つ目は、朝の会や国語の時間を使って、1対1でミニスピーチを聞き合う活動「おはなしじま11」に取り組ませている。始めたばかりなので楽しさを味わわせたいと考え、だれもが話せる話題(例/好きな食べ物)で話をさせている。そして、聞く側には真剣に聞くことを心がけさせている。話し手と聞き手が目を合わせている姿やうなづく姿、笑顔ありと、子ども達の多くは楽しんで取り組んでいる。今後は、質問したり、お話でキャッチボール(質問・応答の繰り返し)したりできるようにしていきたいと考えている。

二つめは、担任自身が、内容と話し方、共にわかりやすい話をするように心がけている。例えば、「今日のお話は、3つあります。一つ目は…。」と、内容のまとまりを意識して話すようにしている。「はじめに」や「次

に「最後に」など、順序を表す言葉を使って話すようにもしている。

3 つ目は、わかりやすい話(内容・話し方)ができた子、反応しながら聞けた子や仲間の意見を自分の考えと比べながら聞き、意見が言えた子を全体場で紹介し、こうした姿が広がるように言葉掛けをしている。

本単元では、興味を持って取り組めるゲーム方式を通して、「話す・聞く」活動の楽しさや良さを味わわせ、大事な事を落とさず話したり聞いたりできる力を大きく伸ばすきっかけとなる指導援助していきたいと考えている。

### (3)指導について

指導に当たっては、「話したい・聞きたい」という必要感の持てる相手や内容、場面を準備することが大切である。そこで、迷子探しゲームを子ども達に提案する時には、楽しくできるというだけでなく、迷子の不安な気持ちや迷子を取り巻く危険な状況を想像させ、早く見つけてあげられるお知らせを話すこと、集中して聞くことへの必要感を持たせたい。

また、迷子早く見つけるためのわかりやすいお知らせにするには、わかりやすい内容を作ること、話し方(技能)があると考えますが、本単元では、実態を受けて を重点に指導を進める。 の話したり聞いたりする時に、落としてはいけない内容を、名前・年齢・性別・服装・持ち物とする。そして、わかりやすくするためには言葉の順序があり、「服装と持ち物より性別が先である。」とする。このことは、違いのある「師範のお知らせ」二つを聞き比べることで理解させていきたい。

「話す」学習では、まず、お知らせを作る活動に取り組ませる。ここでは、知らせたい事をわかりやすい内容にまとめる力には個人差があるので、「大事な事メモ」を用意したり、メモを見ながら「お知らせ」を話す活動をさせたりして対応したい。そして、単元終末の迷子探しゲームでは、メモを見ずにお知らせを「話す」活動に取り組ませる。たくさんの仲間に迷子を正しく見つけてもらった時に、自分の話す力の良さや伸びに気づくことができる。同時に、聞く力の良さや伸びに気づくことができると思う。

### (4)研究主題に関わって

**研究主題「意欲をもち、相手に伝わるように、自分の思いや考えを表現する能力の育成」  
～話す・聞く領域を中心とした国語科学習～**

## 研究内容 1「単元づくりの工夫」

子どもの実態と指導内容をふまえ、評価規準を位置づけた単元指導計画を作成する。

指導内容をふまえ、観察や実態調査によってつかんだ「話す・聞く」の子ども達の実態を分析し、5つの言語意識とつきたい力を明らかにする。

### (1)授業観察での「話す・聞く」の観点

伝えたいことをわかりやすい内容で話しているか。(事柄の順序を考えて話しているか。発問の主旨を受けて意見を述べているか。)

学級の仲間に伝わるために、声の大きさやはきはき話すことに気をつけ、文末まで話しているか。

話し手を見て聞き、反応しているか。質問したり聞き直したりしているか。

大事な事を落とさず聞き取っているか。(発問への応答、指示後の行動など)

話し合いには、できるだけ長い時間、集中して取り組んでいるか。

仲間の話し方や聞き方の良さを自分に取り入れて、話したり聞いたりしているか。

### (2)つきたい力を明らかにし評価規準を位置づけた単元指導計画を作る。(別紙参照)

子どもたちにとってより目的意識をもった学習課題を設定する方法を具体化する。

単元の導入では、子ども達が主体的に「迷子を探し出す」ためには、「聞き手にわかりやすいお知らせをすること・お知らせを落とさず聞くこと」という目的意識を持たせ、これをもとに単元を貫く学習課題を設定する。

## 研究内容 2「学習活動と指導・援助の工夫」

つきたい力と子どもの実態に応じた学習形態を工夫する。

目前に具体的な話し相手を持たせることによって、意欲的に「話す・聞く」学習に取り組ませる。

(1)ペア学習に取り組ませ、お知らせを一对一で聞き合い評価し合うことで、大事な事を落とさず話したり聞いたりできる力をつけることができる。

(2)学級全員を相手に迷子のお知らせを話し、たくさんの子に見つけてもらう活動を行うことで、相手をより意識して話したり聞いたりする力を発揮する必要が生じ、やり遂げた時に「話す・聞く」の力の伸びを感じ、自信を持つことができる。

子どものつまずきに応じた指導・援助を具体化する。

迷子の「お知らせ」を作る力には、個人差があることが予想されるので、ワークシート「大事な事メモ」を用意したり、掲示物で「大事な事」を提示したりして、全員が「お知らせ」を作ることができるようにする。

### 研究内容3「仲間の良さや自己の高まりに気づく評価の在り方」

仲間の学びの良さに気づく相互評価の在り方を具体化する。

ペア学習の評価カードは、『迷子のお知らせを聞いて迷子を正しく見つけることができたら、話した子のカードに聞いた子の名前を書くことができる。』という方法をとる。こうすることで、聞き手の方も名前が書けるように集中して聞くことができ、複数の仲間の評価カードに名前を書くことができたことで、聞く力の良さや伸びに気づくことができると思う。一方、話し手の子は、複数の仲間に名前を書いてもらえたことで、話す力の良さや伸びに気づくことができると思う。

#### 3、単元の目標

(関心・意欲)迷子を早く見つけるために、相手にわかりやすく話そうとしたり、大事な事を落とさずに聞き取るうしたりできる。

(話す)迷子が探し出せるように、その子の様子がよくわかる大事な事を落とさず(知らせたい事柄を選んで順序を考えながら)話することができる。

(聞く)迷子の様子がよくわかる大事な事を聞き落とさないように、注意して聞くことができる。

(言語事項)丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて、はっきりとした声で話することができる。

#### 4、単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く力	ウ 言語についての知識・理解・技能
迷子を早く見つけるために、意欲的にお知らせを作って話したり、聞いたりしている。	人物の特徴を表す事柄に着目し、知らせたい事柄を選び、順序を考えながら話している。 人物の特徴を聞き落とさずに、注意して聞いている。	正しい姿勢、はっきりした口の形での発音と、丁寧な言葉遣いで話そうとしている。

#### 5、単元の5つの言語意識

相手意識	目的意識	場面・状況意識	方法意識	評価意識
クラスの仲間	迷子の さんを見つかる。	遊園地の園内放送を手がかりにする。	特徴を落とさず、話したり聞いたりしている。	1, 2回聞いて見つけられたか。

#### 6、単元指導計画

次	時	ねらい	学習活動	評価規準・評価方法	指導・援助
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の進め方を知り、興味関心を持たせる。」</li> <li>迷子を見つけるために大事な事は何か(その子の様子がわかること/名前・年齢・性別・服装・持ち物など)に気づくことができる。</li> </ul>	<p>「ともこさんはどこかな」の絵を見てどんな場面かをつかむ。</p> <p>絵の中から迷子さがしをすることを知る。</p> <p>ともこさん探しの師範アナウンスを聞く。</p> <p>ともこさんを見つけられた理由を話し合う。</p> <p>自分達もお知らせを聞き合い、迷子探しゲームをすることを知る。</p> <p>単元を貫く学習課題を作る。</p>	<p>迷子探しゲームに取り組むことに意欲を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発言、反応</li> </ul> <p>迷子を見つけるために、聞き落としてはいけない大事なことがわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発言、反応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>迷子になった子の気持ちや状況を考えさせ、できるだけ早く見つけなければならないことを理解させる。</li> <li>迷子を早く見つけるための大事な事とは「性別・服装/形・色、持ち物」など。</li> <li>師範アナウンスは2回とする。</li> <li>見つけた子は、すぐに言うのを我慢させる。</li> </ul>

まい子を早く見つけるために、だいじなことをおとさず話したり聞いたりできるようになるう。

	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迷子を見つけるための大事な事がわかり、落とさず聞くことができる。</li> </ul>	<p>前時に見つけた迷子探しのための大事な事を確かめる。大事な事に注意して、別の迷子を探す師範アナウンスを聞き、迷子を見つける。アナウンス文を掲示し、大事な事を確かめる。大事な事を一部抜いた師範アナウンスを聞き、見つけれないことがわかる。迷子探しでは、大事な事を落とさず集中して聞くことが必要であることを確かめる。次時は、迷子探しの文を作ることを確認する。</p>	<p>師範アナウンスの大事な事を落とさず聞いて、迷子を見つけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言、反応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事な事をカードで示す。</li> <li>・「とも子さん」でない子のアナウンスを聞いてその子を見つけさせることで、前時で確かめた聞き方を再確認し、聞くことができた自分に自信を持たせる。</li> <li>・大事な事が足りないもの、多すぎるものを示し、わかりやすくするためは数も大切ということを理解させる。</li> <li>・次時、迷子アナウンスを作る時には、大事な事を落としてはいけないことを確かめる。</li> </ul>
二	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迷子を早く見つけるためには、話す言葉の順序も大切であることに気づき、大事な事を落とさず、順序も考えて「お知らせ文」を作ることができる。</li> </ul>	<p>絵の中から迷子を決める。迷子を早く見つけるためには、特徴を表す言葉の順序も大切であることがわかる。迷子探しのお知らせを作る(書く)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート内の特徴メモに書く。</li> <li>・ワークシート内の白抜き文に書く。</li> </ul> <p>作れた子から話す練習をする。ペアで迷子探しゲームをする。次時は、メモを見ずに迷子探しゲームをすることを確認する。</p>	<p>「大事な事メモ」をもとに、落としてはいけない大事な事と話す順序に気をつけて迷子のお知らせを作っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートメモ</li> <li>・白ぬき文シート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に名前、年齢を話すことを確かめる。</li> <li>・性別が服装、持ち物の前にあるお知らせと後にあるお知らせを聞かせ、性別を先に話す方が早く見つけられることに気づかせる。</li> <li>・お知らせ作りには、個人差があるので、ワークシートを用意する。</li> <li>・わかりやすいお知らせにするには内容だけでなく、話し方(はっきり、ゆっくり、最後まで、など)も大切であることを確かめる。</li> </ul>
	4 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで迷子探しゲームをやり評価し合うことを通して、大事な事を落とさず話したり聞いたりすることができる。</li> <li>・自分が作ったお知らせを進んで話したり、仲間のお知らせを真剣に聞いたりして、意欲的にゲ</li> </ul>	<p>学習内容を確認する。ペア学習のやり方、ルールを知る。いろいろな子とペアを組んで、迷子探しゲームをやる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価カードを持ち、見つけた場合は自分の名前を書き入れる。</li> <li>・自分で相手を見つけて多くの仲間と聞き合う。</li> </ul> <p>ペア学習を振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話す、聞く」の良さや伸びを</li> </ul>	<p>大事な事を落とさず聞いて、迷子を正しく見つけている。正しく見つけてもらえるように、知らせたい事柄を選んで順序を考えながら話している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学習のやり方をモデルを見せて理解させる。</li> <li>・お知らせは2回まで話せる。(質問はしない。)</li> <li>・迷子を答える制限時間は子ども達と決める。</li> <li>・当ててもらえないことが多いのは、わかりにくいお知らせであることに気づき、直しを入れるこのために直</li> </ul>

	ームに取り組むことができる。	認め合う。 学級全員で迷子探しゲームをやる。 感想を出し合う。 学習のまとめをする。	・ペア学習での様子観察 ・評価カード	しコーナーを設けておく。 ・ペア学習中に、お知らせを直した子や内容でアドバイスした子をみんなに紹介する。 ・話し方の良さも評価する。
--	----------------	---	-----------------------	--

時間外 / 学級全員が、みんなの前で迷子のお知らせをする。

#### 7、本時の目標

(話す、聞く)ペアで迷子探しゲームをやり評価し合うことを通して、大事な事(迷子の様子をわかりやすく表す言葉 / 名前、年齢、性別、服装、持ち物など)を落とさず話したり聞いたりすることができる。

(関心、態度)自分が作ったお知らせを進んで話したり、仲間のお知らせを真剣に聞いたりして、意欲的にゲームに参加することができる。

#### 8、本時の評価規準

- ・迷子探しのお知らせの大事な事を落とさず聞いて、迷子を正しく見つけている。
- ・正しく見つけてもらえるように、知らせたい事柄を選び順序を考えて話している。

#### 授業の視点

ペア学習は、相手意識を持って話したり聞いたりすることに有効だったか。  
感想の中で、自分や友達の良さや伸び(知らせたい事柄を選び順序を考えて話す。大事な事を落とさず聞く)に気づいているか。

9、本時の展開

	主な学習活動	指導・援助	留意点
導入	前時を振り返り、学習課題を確認する。		・持ち物は、教科書、筆入れ
課題化	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     友だちとまいさがしゲームをやって、だいじなことをおとさずに話したり聞いたりできるようにしよう。                 </div> 課題が理解できたかを確かめる。  迷子をきめて、お知らせを話す練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迷子を見つけられれば、「大事な事を落とさず話したり聞いたりできたことになる」と確認する。</li> <li>・メモは書かないことを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事な事カードを掲示する。</li> <li>・できるだけ、メモは書かせない。</li> </ul>
課題	ペア学習のやり方とルールを知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一対一で行う。</li> <li>・初めと終わりは、あいさつをする。</li> <li>・お知らせを話すのは2回までとする。</li> <li>・質問や聞き直し、外れても言い直しはしない。</li> <li>・評価カードの書き方を知る。(聞いた人は、迷子を正しく見つけられたら、自分の名前を話し手のカードに名前を書くことができる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係の子によるペア学習をモデルとして示し、やり方を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学習は、「お話じま 11」の机列にする。</li> <li>・お知らせを話した後の迷子を探す制限時間を、子ども達に決めさせる。</li> </ul>
追求	ペア学習に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ、聞き合う、評価し合う、あいさつ」をして、ペア学習を進める。</li> <li>・ペアを自分で見つけて取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学習中は、実態に応じて個別に指導援助する。 内容(話し方、聞き方)</li> <li>・大事な事を落として話していることに気づき、アドバイスをしている子や、聞き手が正しく見つけてくれなかったことから、自分でお知らせを直して話した子を紹介、交流で高まった姿を価値付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話じま 11 の方法をとるので、全員、次のペアができるのを見届ける。ペアを見つけれない子には声掛けをする。</li> <li>・ペア学習中の個別指導/生徒指導の面について配慮していく。</li> </ul>
評価	学級全員で迷子探しゲームをやる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3名まで当てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人以上に見つけてもらえたら、わかりやすいお知らせであることを確認する。</li> </ul>	
価値	課題について振り返る。(感想を話す。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・真剣に聞いたので、たくさん当てることができた。うれしい。</li> <li>・たくさんの子に当ててもらえてうれしい。大事な事を話せるようになった。</li> <li>・だんだん上手に聞けるようになったので、当てられるようになった。</li> <li>・初めは当ててもらえなかったけど、直したら当ててもらえたのでよかった。</li> <li>・ さんのお知らせは、ゆっくり話してくれたので、わかりやすかった。</li> </ul> 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・迷子を早く見つけるために、大事な事を選び、順序を考えて、わかりやすく話せるようになった。</li> <li>・友だちの話の大事な事をしっかり聞くことができた。</li> <li>・話を聞き合うのは楽しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に感想を言わせ、本時の課題に沿って正しく振り返っている子の感想を、他の子にも広げる。</li> <li>・子ども達の発表を通して、「話す・聞く」のよさを広げる。</li> <li>・「話す・聞く」の伸びが見られる子ども、全体の伸びを、意図的に価値付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習過程に沿って振り返らせ、できるようになったことを自覚させる。</li> </ul>